

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2014年12月1日 135号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



レダ基地のスタッフと共に（右から三人目がファン副大統領、その右が田岡大統領顧問、国際研修所にて）

## ファン副大統領来園！レダを満喫

十月二七日、快晴のレダ基地に、パラグアイ共和国副大統領が、大統領顧問田岡功氏と共に、来園されました。精力的に園内を視察、実務派らしく幾つもの鋭い質問をされ、それにレダ基地の中田所長、佐野氏らが応えて、私たちのプロジェクトの理念と実態に感銘されました。さらに園で働くスタッフ一人ひとりとも接して交流し、非常に喜んで出発されました。最後に以下のような言葉を色紙に記されて行かれました。

『私たちの祖国の美しいこの地域の自然を保護するために、なされた偉大な活動に対して、親愛と敬意をこめて。ファン アファラ』

最後に「必ず大統領をレダに連れて来ます。」と決意の言葉を述べて、アスンシオンに向かいました。（来園の様子は佐野氏からの報告をもとに、次ページに写真で紹介しています。）

カルテス・パラグアイ共和国大統領が訪日したのは今年の六月で、安倍首相や経済人たちと会談し、天皇陛下にもお会いしました。そして日本の経済支援に感謝し、両国の協同発展を約束して行きました。私たちがパラグアイ、パンタナール地域で開拓していることは、正に両国のためであり、日・パ両国間の友好発展に直結しています。したがって副大統領のレダ報告は、必ず大統領の心に響くことでしょうし、来園実現の可能性も大きいと思われます。

なお、九年前に、ニカノール大統領（当時）が来日されたのは、二〇〇五年十月で、その時の在日パラグアイ全権大使が田岡功氏でした。氏は現在大統領の経済特別顧問としてご活躍中です。（飯野記）



# ファン副大統領のレダ基地訪問



レダ開拓史のビデオに心打たれ、会話もはずむ。



孵化設備場でのパクー養殖の説明に「皆様が稚魚を提供するなら、是非政府が、インディヘナ村に養殖場を掘るよう大統領に進言します。」と語っていた。



作り立てソーセージの説明と試食に笑顔。  
「うまい！これはすぐ販売できる。」と太鼓判。



第一農場タロイモ水田では、感心しきり。人、豚、魚全ての食糧になり、栄養価も高く、大きい芋は直径30cmもあると聞いて驚かれる。



歓迎昼食会（食堂にて）。レダ農場産の野菜及び養殖魚、養豚肉、牛肉などの料理に舌鼓を打って喜ばれる。

ファン副大統領、田岡顧問共に、ニームの苗木を自ら植えて記念植樹とされた。大きく育つ頃には、パラグアイも立派に発展し世界に平和が訪れることを祈りつつ。（このページ佐野記、伊達撮影）





## 第六回パンタナール一日特別研修会

を開催



柴沼事務局長と参加者たち

十一月九日（日）大  
山街道ふ  
さと館、二  
階研修室に  
おいて、第  
六回パンタ  
ナール一日  
特別研修会  
が開催され  
ました。以  
下の三つの  
プレゼンテー  
ションがな  
され、五十

名の参加者が熱心に聞き入り、活発な質疑応答がありました。

●「提唱者の思想と私たちレダ開拓史」当法人理事長、飯野貞夫講師

●「ここまで来た！地球環境問題」NPO地球の緑を守る会理事長、高津啓洋講師

●「レダ摂理における理想郷建設」当法人事務局長、柴沼邦彦講師

### 参加者の感想文より（抜粋）

★二回目の参加です。前回も見捨てられた地が着実に建設が進み、発展していることに感動しました。一年もたたないうちに何倍も大きな花が咲いていることを知り、これは空論ではなく、具体的なことなんだと実感し、うれしく思いました。（65・男性）

★映像を紹介しながら、大変な苦勞をしている様子を話してくださいました。その苦勞を笑

ながら話している先生方の目がキラキラ輝き、苦勞を微塵も感じさせないことが素晴らしいです。また、影で支えてくださっている方々に感謝の念を覚えました。（66・女性）

★できれば今からでも南米で役に立つ技術を勉強してもらって、南米にいきけるよう希望します。私も主人を送ってあげたいです。（57・女性）

★どんぐりのように発芽して、次の世代に残して行ける歩みをしたと思います。（49・女性）

★現地での動物の話をされると、慈しみ深い



飯野理事長と高津講師と参加者たち

心から、何か神様が万物を愛で創造されたその心情が伝わりました。（63・女性）

### 大山氏と青木氏がレダでの活動を報告

研修会の中で、レダより一時帰国している二人の現地スタッフがレダ基地での歩みを報告しました。いずれも笑いと涙を誘う証でした。

★大山哲夫氏 現地労働者に負けず、天下一等の労働者になるべく働きました。公館の掃除では、痒い所に手が届くようだという声を感じました。レダは、人生の集大成の地であり、様々な人生の問題が解決する場所だと思っています。

★青木通泰氏 四年間帰国せず勉強して心を改めました。妻のおかげです。豚ランドでは、豚が最後の瞬間まで幸せに生きられるように世話をしました。レダは大規模にやれる凄い場所です。余生をかけるのはここしかないと思います。

### 連載インタビュー（第2回）

#### Amo Leda!



マリオ・コロネル（54）

**Mario Coronel** 3人の子供  
レダにおける唯一の家庭で、以前は牧童の立場で、長い間、牛の面倒をみてきたが、現在は馬、豚、羊などの家畜の面倒をみる担当。

Q. いつ頃レダに来ましたか？

A. 自分がまず最初に来たのはレダの初期のころで、建築のために来ました。雑草を刈って整地していったのを覚えています。そして、公館の柱のための穴掘りをしたり、海軍支所の建築の手伝いをしました。

Q. そのころのレダは今のレダとは大違いですね！

A. ええ、そのころはレダがこのようなとは、想像だに

しませんでした。

Q. マリオさんはレダの歴史の生きた証人ですね。

A. そのころからずっと今までここにいさせてもらってとても感謝しています。自分には何の不満もありません。

Q. レダで働いて感じていることは？

A. ここに外国の訪問客や政府の要人などが度々訪問してきますが、その時にいつも肉を焼いて（アサド）ふるまうのが私の役目です。それをとてもうれしく誇りに思っています。

## 第八回環境問題研究会 報告

(十一月一日 大山街道ふるさと館 午後一時半より)

諏訪湖周辺の自然保護と再生に活躍しておられる諏訪漁業協同組合監査委員の吉澤忍氏をお招きして、「自然破壊から見た諏訪湖の現状と再生への将来展望」をテーマに、人間が自然環境と如何なる関係をもつべきかについてのご講演でした。

諏訪漁協で漁業・養蜂・野菜生産の三事業部を運営され、特に漁業事業部では、ワカサギ卵孵化の新しい方式を開発し、孵化成功率を飛躍的に向上させた功績が高く評価されています。現在、諏訪湖環境改善に責任を持たれ、湖底の貧酸素、外来魚等の諏訪湖四悪の改善に尽力されておられます。『当法人の会員でもある吉澤講師自身が諏訪湖現場において実践してきた内容であり、パワーポイントを用いて、大変情熱的で、説得力のある感動的な内容でした。諏訪湖の現状に環境問題から強い危機感を持ち、その再生に尽力を尽くしたことは何であつたのかを詳細に説明してくれました。』

「六年前、諏訪湖の再生に取り組んだ時には、諏訪湖の四悪(害)」と言われる深刻な問題があつた。

第一に湖底の貧酸素により、湖底の魚、貝、虫が絶滅した害、第二にヒシの害。水上植物であるヒシの異常繁殖により、水面下一m以下は酸素ゼロになり、湖底が貧酸素状態になり、湖底の魚、貝、虫の絶滅の原因となつていた。(ヒシは水上に漂う植物のため、光合成によってつくられた酸素が水の中に行かず、空気中に出て行くため)、第三にカワイイサ、カワウ



の害。魚群の大敵である水鳥のカワイイサ、カワウ、約二千羽がワカサギ等を一日一トン捕食するという被害を与えていた。第四に外来魚の害。外来魚であるブラックバス、ブルーギルがエビ、フナ、ワカサギ等の年間体重の六倍を捕食しており、大きな被害を受けていた。

そのため、これら四悪(害)に対するそれぞれの具体的な解決の取り組みは、経験(K)と勘(K)と度胸(D)(でたらめ)(D)のKKDDではなく、経験と勘とデータによる科学的分析に基づく取り組みが行われ、目覚ましい成果を上げることが出来た。」

こうして諏訪湖は見事に再生し、ワカサギの漁獲量が回復されたとの報告がなされました。その結果、一度環境破壊され、ワカサギ、タニシ等が激減した諏訪湖を、見事に甦らせた現場からの実践報告となりました。

講演後、懇親会となり、各人が講演の感想を述べました。実践的、実的な内容であり、大変よかったですと多くの方が感想を述べていました。講師を務めた吉澤先生は、ワカサギの養殖のほか、果樹栽培、養蜂等も手掛けており、当環境問題研修会のモットーである『自然を愛し、自然から学び、自然と共に生きる』の精神をまさに実践している方であり、当研究会とのこれから連携した活動に期待が持たれます。大変有意義な研修会となりました。(環境問題研究会、赤城勲記)



自然から学び、自然と共に生きる』の精神をまさに実践している方であり、当研究会とのこれから連携した活動に期待が持たれます。大変有意義な研修会となりました。(環境問題研究会、赤城勲記)

継続して環境問題研究会を開催しますので関心のある方は下記事務局にご連絡ください。

### 一般社団法人 南北米福地開発協会事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

一般会員会費納入 ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

Eメール: office@asd-nsa.jp

ホームページ: http://www.asd-nsa.jp

### 会員種別

♠ 一般会員500円/月

(半年分3000円または一年分6000円でご入金願います。)

一般会員の方は、左記の口座宛て会費をご入金ください。

♠ 正会員一口1000円/月 ※口数は申込者が申告

♠ 法人会員一口1万円/月 ※口数は申込者が申告

正会員、法人会員の会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行 00290-5-113072

加入者名: シャ) 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥ 入会申込書は、ホームページからもダウンロードできます。

[http:// www.asd-nsa.jp/nyuukai.pdf](http://www.asd-nsa.jp/nyuukai.pdf)